

明るく！ 元気に！ さわやかに！

調布市議会議員

川畑英樹

市民政治
チャレンジ
レポートvol.24



川畑英樹

川畑英樹、調布市政に賭ける決意を語る

私は、この八年間の市議会議員としての活動経験と実績を活かし、これからも、普通の市民の目を大切にしながら、明るく元気にさわやかに、そして真剣に『誰にとっても優しい、人に温かい』まちづくりに取り組んでいきます。

調布は今まさに、京王線立体交差化事業を契機に生まれ変わろうとしています。昨年の「ゲゲゲの女房」効果で観光客も増えている現在、調布に住む人だけでなく、調布を訪れる人を含め『誰にとっても優しい、人に温かいまちづくり』が求められています。

調布は今まで以上に、京王線立体交差化事業を契機に生まれ変わろうとしています。昨年の「ゲゲゲの女房」効果で観光客も増えている現在、調布に住む人だけでなく、調布を訪れる人を含め『誰にとっても優しい、人に温かいまちづくり』が求められています。

私が市議会に初めて送り出していただいたから、八年が過ぎようとしています。当然のことですが、私もそのぶん歳を重ねました。人はみな歳を重ね、老いていきます。だからこそ、誰もが、いくつになっても「この調布に住んでいてよかった」と思えるようなまちづくりをしていかなければなりません。

川畑英樹が取り組む、6つの基本政策

①保育・子育て支援～安心して子育てできるまち

- ◎待機児童ゼロの保育行政・家庭福祉員(保育ママ)の拡充を
- ◎延長保育・一時預かり保育・病後児保育のさらなる促進を
- ◎乳幼児を持つすべての家庭に、子育て相談員制度の新設を

調布市の保育園に入りたくても入れない待機児童は249名に上ります。

②バリアフリー・まちづくり～みんなに優しく元気なまち

- ◎段差の少ない、高齢者・障害者に優しいバリアフリーを実現したまちづくりを
- ◎「映画のまち」を活かした観光振興と元気なまちづくりを
- ◎交通不便地区にミニバス運行の実現を

市民ニーズ調査では「バリアフリー整備状況が十分ではない」と感じる方が48.5%に上ります。

③介護支援～安心して齢を重ねられるまち

- ◎特別養護老人ホームを増設し、入所待機者の解消を
- ◎在宅介護サービスの充実、グループホームの整備を
- ◎自宅で介護する家族への支援、こころのケア充実を

調布市の高齢者数は約42,000人、特別養護老人ホームの入居待ちは約500人です。

④環境・ゴミ対策～環境を大切にすま

- ◎放置自転車ゼロをめざし、立体駐輪場・地下駐輪場の新設を
- ◎公共施設・小中学校への太陽光発電システム設置の促進を
- ◎生ゴミ処理機の購入助成の増額を

放置自転車の撤去台数は三多摩地区で3番目に多く、16,891台に上りました。

⑤教育～楽しく学べるまち

- ◎小中学校の校庭芝生化の促進を
- ◎団塊の世代・お年寄りの能力を借りたコミュニティースクールの創設を
- ◎いじめや教育格差の解消のための制度の充実を

小学校20校のうち、校庭が一部でも芝生化されているのは8校、中学校は0校です。

⑥防災・防犯～安全・安心に暮らせるまち

- ◎京王線地上部に、防災機能付き・避難可能な公園を
- ◎犯罪抑止のため青色回転灯装着車両を増車し、白黒のツートンカラーに
- ◎犯罪及び交通事故多発地区のわかる、危険箇所確認マップの早期作成を

犯罪認知件数2,707件・空き巣を含む侵入窃盗139件・交通人身事故827件